

俳画風味

テーマ 日本人の自然観、感性、参加者同士の関係、各自の表現力、参加者の一体感、参加者相互の出会いを促す

時間 2時間以内
1日以内

場所 どこでも

人数 数名

季節 いつでも

用具 清書用の短冊、俳画用紙、筆ペン、クレヨン

ながれ

1. あらかじめ句を詠んでおきます。一人2句づつくらいあると良いです。また、2グループに分かれて句会をしておくことが前提です。
2. できた句を各自が清書します。人に読める文字で書きます。また、その際に詠み人の名前は伏せておきます。清書した句を各グループのファシリテーター（指導者というより後押し役として役割の人）は回収しておきます。このときに「俳句の続きのアクティビティがあります」と予告しておきましょう。
3. 全体に対して「俳画風味」のオリエンテーションを行います。
4. まずは、以下のことを参加者に分かりやすく伝えます。
「これから「俳画風味」をおこないます。」
「俳画の用紙に絵を書き込みます。ルールは、余白を生かす、下手をもってよしとする、淡白をよしとする、の3つであることを伝えます。」
5. 15～20分ほど絵を描く時間をとります。
6. 全員が描き終えたらもう一度集まってもらい次の作業の説明に入ります。
「これから余白に添える句を選びます。書き込む句は、先ほど自分が詠んだ句ではなく別のグループの人が詠んだ句です。」
「句と絵がお互いを引き立てあうようにするために、句と絵は直接関連性がないものの方が良いようです。」
「気に入った句を一つ選んだら、自分の絵の横に自由に書き込んでもらいます。」
7. 全員が書き込み終えたら発表会に入ります。発表会では、
*参加者は作品を見せながら、選んだ句を読み上げます。2回続けて読みあげると効果的です。
*なぜその句を選んだのかを発表してもらいます。詠み手と受け取り手が違う解釈をしている場合も多々あり、その違いがさらに俳句の面白さを引き出します。



ポイント

潮溜まりで観察を行うときはビーチサンダルは避けて汚れても良いスニーカーを履くようにしましょう。下記に行うときは体調に十分気をつけて、日射病・熱射病にならないよう対策をしましょう。水槽の中での生き物の行動観察は、できるだけ自然の中で行うことが望ましいです。観察が終わったら、元に戻しましょう。死なせてしまわないよう、大切に扱いましょう。水槽には小石や隠れ場になる大型の貝殻などを入れると、生き物が生活しやすくなります。